

堺区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称				実施主体			
子ども活躍の場提供事業				堺区役所企画総務課			
事業目的		事業効果		活動指標	R5	R6	R7
吹奏楽やダンスなど部活や教室で日々の練習を続けている子どもたちの成果を発表する場に加え、スポーツで頑張っている学生や堺区にゆかりのある企業とスポーツチームとスポーツ教室を実施することにより、こどもの今後の励みや活躍につなげ、事業を通じた地域の人のつながり強化や地域の魅力を改めて認識し、その良さを実感する。		こどもの発表の場を設けることで、子育て世代を中心に多世代が集う場ができ、地域への関心や地域の人のつながりの構築に寄与する。また、地域への誇りや愛着につながるきっかけとなる。		出場学校数 (対象学校数 9校)	9校	台風のため中止	
				当日の観客数 (うち出演者数)	約3,000人 (約500人)	台風のため中止	
				体験者数		52人	
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	子ども音楽フェスでは、子どもたちの演奏発表の場を設けることで、堺区の子どもたちの健やかな成長につながることを期待でき、地域の人とのつながりを強めることに寄与している。またスポーツフェスでは、スポーツチームの日本製鉄堺プレイザーズのコーチ・スタッフによるバレーボール教室を行い、地域の人のつながり強化や魅力を改めて認識することに寄与している。	○	子ども音楽フェスでは、会場の調整やプログラム作成等を行政が行い、学校間の調整や準備等は顧問の先生同士で行っている。スタッフとして大学生を起用し、店舗出演団体等の調整を行ってもらった。区役所と出演校、大学生が役割を分担し、相互に協力しながら事業を進めている。また、スポーツフェスでは、事業実施PRや参加者への声掛けを堺プレイザーズも行っている。	○	子ども音楽フェスでは、子どもたちが一堂に会して出演するため、各地域の区民の関心を集めることができている。 また、スポーツフェスでは、堺区ふれあいまつりと同時開催することにより、多くの区民に知ってもらうことができた。	○	事業の実施にあたり予算・要員ともに最小限に抑えて実施することができた。 児童・生徒の家族をはじめとした地域の方々が多く集まり、にぎわいを創出し、効率の高い事業が実施できている。
⑤自立発展性		総合評価					
○	実施主体は区役所が担い、各小中学校や大学、企業等と連携して事業を実施しているが、一部運営方法を見直すことにより、大学や企業に担ってもらえる部分があると考えられる。	○	子ども音楽フェスは、台風10号の接近に伴い暴風警報が発令され、イベントを中止することになった。小中学生の指導者や大学の教授やスタッフからは、子どもたちが意欲的に練習に取り組むきっかけとなるため、来年度は必ず開催してほしいとの声をいただいた。こどもの健全育成、地域交流、にぎわいの創出に効果的な事業であると考える。 スポーツフェスについては、プレイザーズスポーツチームのジュニアコーチを講師に迎え、バレーボール教室を行うことで、地域の人のつながり強化、地域への誇りや愛着につながった。				
今後の方向性（課題、改善提案等）							
拡充 継続 見直し 廃止	事業の参加者の満足度は高く、継続の意向が一定数得られているが、実施内容の充実などさらに改善しつつ、効率的に事業を実施する。						